



内 容

技術分野

学期・月	教材名	学習活動
1 学 期	4	オリエンテーション ◇技術・家庭の授業の目標、内容、評価、授業の約束などを知る。 ○見通しをもち積極的に取り組むことを目指します。
	5	○今と昔の生活と技術 ・科学技術の進歩で、生活は快適になったが、反面、問題点も多々発生している。環境、技術、心の面から問題点とこれからの生活のあり方を考える。
	6	○交流電源と直流電源の違い及び充電電池の特性 ・周波数の違いによる電気機器の影響、及び、充電電池の特性からくる取り扱いについて学ぶ。
	7	○簡単な電気回路の作成と電気エネルギーの利用 ・簡単な電気回路の作製をとおして電気エネルギーの利用方について学び、回路の組み方で安全や防犯に役立つ回路を考えさせる。
2 学 期	9	○エネルギー変換に関する技術 ・社会・環境とのかかわり ・動力伝達のしくみと利用 *回転運動を電気に変換して利用する電気機器の製作(ダイナモコンデンサラジオ) ○電気機器の安全な利用と保守点検 ・電気製品の定格と電気の流れる量の測定 ・電気機器の安全な利用と点検
	10	○デジタル作品の設計・製作 ・エネルギー変換に関する技術と有効活用、および、それに伴う環境への配慮について学ぶ。 ・製作しながら発電と充電について体感させ、機能を考えながら作品を製作し、有効な活用方法を学ぶ。 ・電子部品の特徴が知り、その表記の仕方がわかるようにする。 ・科学技術の進歩に伴う、専門用語(部品)について学ぶ 例：トランジスタ、IC、発光ダイオード 等 ・それぞれの電気機器が使う電気の量を知らせ、安全快適に電気機器を使用する方法について学ぶ。 ・たこ足配線の危険を知らせ、正しい電気機器の接続の仕方について学ぶ。
10 11 12 1	*後期は家庭科分野を学ぶ	・情報を処理するしくみや、デジタル化の方法と情報の量、デジタル化した情報の特徴を知る。 ・メディアの特徴を知り、目的に合わせたデジタル作品の設計を行う。

評 価

技術分野 <評価の観点>

- ① 関心・意欲・態度
・実習に集中して取り組み、毎時間の課題を計画的に進めることができる。
・ノートやプリントをきちんとまとめる。
・持ち物をきちんと用意して授業に臨んでいる。
 - ② 創意工夫する能力
・製作物の形や構成などを工夫する。
・効率的に作業しようと工夫する。
・メディアの素材や利用方法について比較検討した上で設計している。
 - ③ 生活の技能
・作品の仕上がりぐあい。
・正しく工具を使いこなし、簡単な電気機器の修理が出来る。
・メディアを複合させ、表現できる。
 - ④ 知識・理解
・工具の特徴を知り、正しく使用するための基礎的知識を学ぶ。また、消費電力等、電気の流れる量について学び、電気製品を安全に使用する能力を身に付ける。
・メディアの特徴についての利点・欠点を整理し、そのメディアの利用方法についての知識を身につける。
- <評価の方法>
・毎時間の授業への取組、制作物の工夫・努力・仕上がり具合、作業記録表、ノート・プリントなどの学習活動、定期テストを基にして総合的に評価する。



授業中
①授業の準備をする。
(道具や材料の忘れ物をしないなど授業の約束を守る)
②目的と意欲をもって授業に臨む。学ぶべきところを学ぶ、高め磨く。
③創意工夫して作品を制作する。



復習
取り組んだ作品、制作物が期限内に完成できるように、「何を」「どうしたらよいか」など、自己評価しながら取り組む。
(遅れてる場合、自分でできることを行う。)
*自分以外の作品から学び、次の学習に生かす。

※安全で、気持ちのよい授業ができるように、授業の約束は守る。